

鳥取市歴史博物館「やまびこ館」

鳥取城のあゆみ!

今年は、鳥取城のあった場所に久松公園が開設されて100年の節目になります。やまびこ館では、令和5年度企画展として、7月22日～9月10日まで「鳥取城の歩み～天神山城から鳥取城へ～」を開催します。この間、8月1日～20日までは館内をめぐるクイズラリーも実施します。この夏はやまびこ館へGO!



羽柴秀吉鳥取城攻布陣図（鳥取市歴史博物館蔵）

鳥取市因幡万葉歴史館

第23回因幡の傘踊りの祭典

「因幡の傘踊り」は鳥取県の無形民俗文化財です。その踊りを継承する団体が、9月30日（土）午後1時30分より、傘踊り発祥の地である国府町に一堂に集い、独自の演技を競演します。新型コロナの影響で中止していましたが、今年は4年ぶりの開催となります。勇壮活潑な踊りを披露しますので、ぜひ見に来てください!



4年ぶりに勇壮な傘踊りが見られます!

仁風閣・宝扇庵

学校とのコラボ～仁風閣を舞台に

仁風閣を会場に、鳥取市立久松小学校による麒麟獅子舞と図工作品展、鳥取市立北中学校の美術・華道作品展とイベントコンサート、また、鳥取県立鳥取聾学校の写真展も予定しています。他の学校の児童・生徒の作品や活動に触れるチャンス!ぜひ見に来てください。

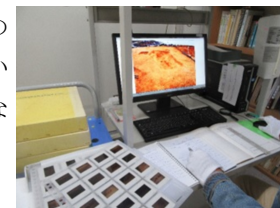


昨年の麒麟獅子舞（久松小学校）

鳥取市埋蔵文化財センター

遺跡の記録を後世に伝える

鳥取市埋蔵文化財センターでは遺跡の現地調査が始まるまでは、資料や出土遺物の整理が中心です。発掘調査の記録写真は平成14年にデジタルカメラを導入するまではフィルム写真でした。資料整理では、スキャナーで写真フィルムを取り込みデジタル化していきます。地道な作業ですが後世に遺跡の記録を伝えていくために大切な仕事なのです。



フィルムをスキャンしてデジタル化する

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

やっぱりあれでしょ、Oh「脳」!!!

青谷上寺地遺跡では、今から約1800年前の人骨の中から弥生人の「脳」が奇跡的に出土しました。日本では初で最古。世界でも数例のみの貴重品です。現在「脳」は未来へ向けて氷温庫で眠っていますが、鳥取市青谷上寺地遺跡展示館ではその一部を展示中です。また、現在「脳」出土の溝の続き部分を発掘調査中ですが、4人目の「脳」が見つかるかもしれませんね。

弥生人復元像（青谷上寺朗）
（鳥取県とっとり弥生の王国推進課所蔵）

鳥取市あおや郷土館

弥生時代の青谷にどんな動物がいた?

鳥取市あおや郷土館では、7月15日（土）～8月20日（日）まで「アニマルBone!! 一約2,000年前の青谷の動物たち」を開催します。青谷上寺地遺跡では、たくさんの動物の骨そのものや、動物の骨や角で作った漁撈具が多く出土しています。展覧会では、弥生時代の青谷にどんな動物がいたのか、弥生人とどんなにかかわりを持っていたのかを、現代の動物の骨とも比較しながら探ります!



ツキノワグマ頭蓋骨（左:鳥取県とっとり弥生の王国推進課所蔵 右:個人蔵）

鳥取市あおや和紙工房

あがり展がちょうど20回目を迎えます!

あおや和紙工房の恒例展示事業である「因州和紙あかり展」が今年度は第20回目の節目を迎えます。和紙あかりの魅力を発信していきますのでお楽しみに!開催は令和6年1月20日（土）～3月24日（日）までです。



例年力作が並びます!

城下町とつとり交流館 高砂屋

季節ごとの屏風、掛け軸を楽しんで!

高砂屋の2階には3つの和室があり、ふすまや掛け軸、屏風がとても素敵です。鳥取市内の小林表具店さんが、季節ごとに掛け軸・屏風等の入れ替えをしてくださっています。貸室にもなっていますので、季節を感じながら皆さんにくつろいでいただくことができます。見学の時にはぜひご覧ください。



武者絵の掛け軸と屏風